

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月20日

上場会社名 株式会社 ユビキタスAI 上場取引所 東
コード番号 3858 URL https://www.ubiquitous-ai.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 聡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大吉 裕太 TEL 03-5908-3451
コーポレート戦略本部長
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,138	19.0	105	46.9	101	15.8	97	195.1
2024年3月期	3,478	79.5	71	—	87	—	32	—

(注) 包括利益 2025年3月期 68百万円 (191.9%) 2024年3月期 23百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	9.28	—	4.1	2.8	2.5
2024年3月期	3.15	—	1.4	2.6	2.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,459	2,402	69.4	229.67
2024年3月期	3,732	2,333	62.5	223.10

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,402百万円 2024年3月期 2,333百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	140	20	△220	1,341
2024年3月期	188	11	△318	1,401

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

(注) 当社は、さらなる収益基盤の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を図っていく必要があることから、誠に遺憾ながら、無配を継続させていただきます。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,349	5.1	6	△94.3	5	△95.1	△23	—	△2.20

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名） 、除外 1社（社名）株式会社エイム

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2025年3月期	10,459,000株	2024年3月期	10,459,000株
2025年3月期	117株	2024年3月期	117株
2025年3月期	10,458,883株	2024年3月期	10,458,883株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (2) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

① 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における売上高は、4,138,789千円となり、2024年5月15日発表の通期業績予想に対し102.9%の達成率となりました。

当社グループの報告セグメントは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」、「ソフトウェアサービス事業」及び「データアナリティクス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「ソフトウェアプロダクト事業」は、組込みネットワーク、セキュリティ&リアルタイムOS関連製品、高速起動製品、データベース製品等の主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェアの開発及び販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアディストリビューション事業」は、海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポートに関するセグメントであります。

「ソフトウェアサービス事業」は、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントであります。

「データアナリティクス事業」は、株式会社ライトストーンにおける、統計・数値データ解析ソフトウェアの販売等に関するセグメントであります。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	当連結会計年度		前連結会計年度		増減率 (%)
	売上高 (注) (千円)	売上割合 (%)	売上高 (注) (千円)	売上割合 (%)	
ソフトウェアプロダクト事業	899,457	21.7	689,450	19.8	30.5
ソフトウェアディストリビューション事業	1,318,589	31.9	1,242,507	35.7	6.1
ソフトウェアサービス事業	1,005,769	24.3	663,629	19.1	51.6
データアナリティクス事業	914,973	22.1	883,414	25.4	3.6
合計	4,138,789	100.0	3,478,999	100.0	19.0

(注) 売上高は、セグメント間取引を消去しております。

・ソフトウェアプロダクト事業

当事業は、高速起動製品における国内外の車載機器関連及び海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上、また、セキュリティ製品及びデータベース製品における産業機器の既存顧客からのロイヤルティ売上、さらに、音声コードUni-Voice (ユニボイス) 製品の印刷関連の既存顧客からのロイヤルティ売上を中心に、売上高899,457千円 (前期比30.5%増)、セグメント損失28,115千円 (前期は17,414千円の利益) となりました。

セグメント売上高の増加要因は、グレースシステム (GS社) のロイヤルティ売上の増加によるものです。セグメント損失の増加要因は、自社製品の売上及び利益減少並びにセグメント共通コスト増加の影響によるものです。

・ソフトウェアディストリビューション事業

当事業は、BIOS、Bluetooth、ソフトウェア解析・開発効率化ツール及びネットワークマネジメント等の海外製品における既存顧客からのロイヤルティ及び受託開発売上、また、セキュリティ検証ツール・サービスの既存及び新規顧客へのライセンス販売並びに受託開発売上を中心に、売上高1,318,589千円 (前期比6.1%増)、セグメント損失37,087千円 (前期は14,826千円の損失) となりました。

セグメント売上高の増加要因は、既存顧客からのロイヤルティ及び受託開発、既存顧客向けライセンス売上の前倒しに加えて、GS社取扱い海外製品の売上分の追加により、売上高が対前年同期比で増加したことによるものです。セグメント損失の増加要因は、セグメント共通コスト増加の影響によるものです。

・ソフトウェアサービス事業

当事業は、既存顧客からの各種受託開発売上、データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライ

センス売上加え、GS社の受託開発売上追加により、売上高1,005,769千円（前期比51.6%増）、セグメント利益118,600千円（前期比182.8%増）となりました。

・データアナリティクス事業

当事業は、一般企業及び教育機関へのデータ解析ソフト、画像解析ソフトの販売増により、売上高914,973千円（前期比3.6%増）、セグメント利益51,743千円（前期比91.3%増）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,138,789千円（前期比19.0%増）、営業利益105,141千円（前期比46.9%増）、経常利益101,532千円（前期比15.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益97,079千円（前期比195.1%増）となりました。

② 当期の財政状態の概況

（流動資産）

当連結会計年度末における流動資産は、2,513,353千円（前期比136,992千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少であります。

（固定資産）

当連結会計年度末における固定資産は、945,767千円（前期比136,345千円減）となりました。その主な要因は、のれんの減少であります。

（流動負債）

当連結会計年度末における流動負債は、730,717千円（前期比233,918千円減）となりました。その主な要因は、短期借入金の減少であります。

（固定負債）

当連結会計年度末における固定負債は、326,360千円（前期比108,040千円減）となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の減少であります。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は、2,402,043千円（前期比68,621千円増）となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は69.4%となりました。

③ 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、1,341,054千円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は、140,580千円（前期は188,198の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は、20,454千円（前期は11,719千円の増加）となりました。その主な要因は、定期預金の払戻による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は、△220,915千円（前期は318,873千円の減少）となりました。その主な要因は、短期借入金の減少によるものであります。

(2) 今後の見通し

2026年3月期における各事業の見通しは、以下のとおりです。

・ソフトウェアプロダクト事業

高速起動製品は、既存顧客からの売上と既存顧客の他製品への横展開によるロイヤルティ収入において、増加幅は大きくないものの安定した売上を確保することを見込んでおります。

コネクティビティ、セキュリティ&OS関連製品は、自動車及びIoT機器向けを中心としたセキュリティ関連分野への拡販が増加することを見込んでおります。

データベース関連製品は、引き続き産業機器等の既存顧客案件を中心に一定の需要を獲得できることを見込んでおります。

これらにより、前期に比べて売上高の増加を見込んでおります。

・ソフトウェアディストリビューション事業

BIOS製品及びソフトウェア解析・開発効率化ツール製品の需要は、前期から増加することを見込んでおります。

セキュリティ検証ツール・サービスは、既存顧客との前期からの受託開発継続案件に加え、製品販売とのシナジーによる新規案件獲得に力を入れて取り組むことで、前期に比べて売上高の増加を見込んでおります。

Bluetooth等の組込みミドルウェア製品の需要は、前期並みとなることを見込んでおります。

これらにより、前期に比べて売上高の増加を見込んでおります。

・ソフトウェアサービス事業

前期からの受託開発による売上が堅調に進展しており、前期に比べて売上高の微増を見込んでおります。

・データアナリティクス事業

当期も引き続きパッケージソフトの売上が堅調に推移することから、前期に比べて売上高の増加を見込んでおります。

2025年3月期の途中から開始したグループ経営の管理機能の強化に加えて、事業部門等における積極的な人材の採用などについて、2026年3月期を通じて行うことから前期と比べて費用の増加を見込んでおります。

以上により、2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高4,349,000千円（前期比5.1%増）、営業利益6,000千円（前期比94.3%減）、経常利益5,000千円（前期比95.1%減）、親会社株主に帰属する当期純損失23,000千円（前期は97,079千円の利益）を見込んでおります。

なお、当社は、2026年3月期から2028年3月期までの新たな中期経営計画を策定しており、2028年3月期の売上高50億円（オーガニックな成長とM&Aによる成長を見込む）を目指しております。これを踏まえ、後日、中期経営計画を公表する予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,471,751	1,346,054
受取手形及び売掛金	1,050,053	1,035,037
商品及び製品	3,914	10,172
仕掛品	17,029	8,225
前払費用	77,708	83,427
未収還付法人税等	16,360	—
その他	13,530	30,439
流動資産合計	2,650,345	2,513,353
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	71,433	62,888
工具、器具及び備品 (純額)	35,625	29,562
車両運搬具 (純額)	2,495	—
有形固定資産合計	109,553	92,450
無形固定資産		
ソフトウェア	30,669	60,785
のれん	442,418	348,407
その他	383	293
無形固定資産合計	473,470	409,485
投資その他の資産		
投資有価証券	321,876	265,341
差入保証金	126,918	135,306
繰延税金資産	46,559	40,357
その他	3,735	2,828
投資その他の資産合計	499,088	443,832
固定資産合計	1,082,111	945,767
資産合計	3,732,456	3,459,120

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	317,637	305,387
短期借入金	161,780	—
1年内返済予定の長期借入金	51,224	28,590
未払金	93,595	119,218
未払費用	34,421	37,124
未払法人税等	36,786	45,153
未払消費税等	64,144	52,132
契約負債	148,770	100,849
賞与引当金	28,000	28,000
資産除去債務	9,812	—
その他	18,465	14,263
流動負債合計	964,634	730,717
固定負債		
長期借入金	73,325	36,824
退職給付に係る負債	206,473	226,371
役員退職慰労引当金	69,557	—
資産除去債務	39,326	39,498
繰延税金負債	45,718	21,989
その他	—	1,678
固定負債合計	434,400	326,360
負債合計	1,399,034	1,057,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,483,482	1,483,482
資本剰余金	1,453,482	1,453,482
利益剰余金	△741,505	△644,427
自己株式	△121	△121
株主資本合計	2,195,339	2,292,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,083	109,625
その他の包括利益累計額合計	138,083	109,625
純資産合計	2,333,422	2,402,043
負債純資産合計	3,732,456	3,459,120

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,478,999	4,138,789
売上原価	2,040,833	2,408,184
売上総利益	1,438,166	1,730,605
販売費及び一般管理費	1,366,599	1,625,464
営業利益	71,568	105,141
営業外収益		
受取利息	265	607
受取配当金	3,140	2,965
為替差益	12,998	—
保険解約返戻金	5,481	—
営業外収益合計	21,885	3,573
営業外費用		
支払利息	4,323	1,892
為替差損	—	3,073
投資事業組合運用損	1,482	2,217
営業外費用合計	5,804	7,182
経常利益	87,649	101,532
特別利益		
投資有価証券売却益	41,605	—
固定資産売却益	—	221
役員退職慰労引当金戻入額	—	45,465
特別利益合計	41,605	45,686
特別損失		
固定資産除却損	700	2,886
投資有価証券評価損	—	15,152
特別損失合計	700	18,037
税金等調整前当期純利益	128,554	129,180
法人税、住民税及び事業税	40,842	39,052
法人税等調整額	54,811	△6,950
法人税等合計	95,654	32,102
当期純利益	32,900	97,079
親会社株主に帰属する当期純利益	32,900	97,079

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	32,900	97,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,394	△28,458
その他の包括利益合計	△9,394	△28,458
包括利益	23,507	68,621
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	23,507	68,621

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,483,482	1,453,482	△774,406	△121	2,162,439
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			32,900		32,900
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	32,900	—	32,900
当期末残高	1,483,482	1,453,482	△741,505	△121	2,195,339

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	147,477	147,477	2,309,915
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			32,900
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△9,394	△9,394	△9,394
当期変動額合計	△9,394	△9,394	23,507
当期末残高	138,083	138,083	2,333,422

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,483,482	1,453,482	△741,505	△121	2,195,339
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			97,079		97,079
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	97,079		97,079
当期末残高	1,483,482	1,453,482	△644,427	△121	2,292,418

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	138,083	138,083	2,333,422
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			97,079
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△28,458	△28,458	△28,458
当期変動額合計	△28,458	△28,458	68,621
当期末残高	109,625	109,625	2,402,043

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	128,554	129,180
減価償却費	27,951	28,757
のれん償却額	66,464	94,011
役員退職慰労引当金戻入額	—	△45,465
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	15,152
投資有価証券売却損益 (△は益)	△41,605	—
受取利息及び受取配当金	△3,406	△3,573
支払利息	4,323	1,892
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,145	15,886
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△12,466	2,546
前払費用の増減額 (△は増加)	△5,449	△5,718
営業債務の増減額 (△は減少)	74,070	△18,190
未払金の増減額 (△は減少)	20,929	24,183
未払費用の増減額 (△は減少)	△21,023	2,703
未払又は未収消費税等の増減額	45,971	△12,012
契約負債の増減額 (△は減少)	36,659	△46,243
預り金の増減額 (△は減少)	491	△5,571
その他	30,129	△21,955
小計	242,444	155,583
利息及び配当金の受取額	3,406	3,573
利息の支払額	△4,200	△2,060
法人税等の支払額	△66,114	△35,351
法人税等の還付額	12,662	18,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	188,198	140,580
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,445	△4,624
有形固定資産の売却による収入	—	1,885
無形固定資産の取得による支出	△17,263	△34,772
保険積立金の払戻による収入	85,145	—
保険積立金の積立による支出	△9,937	—
投資有価証券の取得による支出	△21,283	—
投資有価証券の売却による収入	110,017	—
定期預金の預入による支出	△45,451	—
定期預金の払戻による収入	118,205	65,533
貸付金の回収による収入	100,631	—
貸付けによる支出	△23,030	—
子会社株式の取得による支出	△281,358	—
差入保証金の差入による支出	△60	△8,387
差入保証金の回収による収入	547	10,598
資産除去債務の履行による支出	—	△9,800
その他	—	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	11,719	20,454
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△175,020	△161,780
長期借入金の返済による支出	△143,853	△59,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△318,873	△220,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,241	△282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△113,714	△60,164
現金及び現金同等物の期首残高	1,514,932	1,401,217
現金及び現金同等物の期末残高	1,401,217	1,341,054

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当連結会計年度の期首から適用しています。

これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」、「ソフトウェアサービス事業」及び「データアナリティクス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「ソフトウェアプロダクト事業」は、組込みネットワークソフトウェア及びセキュリティ関連ソフトウェア製品並びにリアルタイムOS関連製品、データベース製品、高速起動製品等の主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェアの開発及び販売等に関するセグメントであります。

「ソフトウェアディストリビューション事業」は、海外ソフトウェアの輸入販売、テクニカルサポート、及びカスタマイズ開発に関するセグメントであります。

「ソフトウェアサービス事業」は、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発、及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントであります。

「データアナリティクス事業」は、統計・数値データ解析ソフトウェアの販売等に関するセグメントであります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務 諸表計上額
	ソフトウェア プロダク ト	ソフトウェ アディスト リビューシ ョン	ソフトウェ アサービス	データアナ リティクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	689,450	1,242,507	663,629	883,414	3,478,999	—	3,478,999
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,199	3,491	17,920	—	25,610	△25,610	—
計	693,649	1,245,998	681,549	883,414	3,504,610	△25,610	3,478,999
営業利益又は営業損失 (△)	17,414	△14,826	41,936	27,043	71,568	—	71,568

(注) 営業利益又は営業損失 (△) の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	連結財務 諸表計上額
	ソフトウェ アプロダク ト	ソフトウェ アディスト リビューシ ョン	ソフトウェ アサービス	データアナ リティクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	899,457	1,318,589	1,005,769	914,973	4,138,789	—	4,138,789
セグメント間の内部売 上高又は振替高	515	250	37,718	—	38,482	△38,482	—
計	899,972	1,318,839	1,043,487	914,973	4,177,271	△38,482	4,138,789
営業利益又は営業損失 (△)	△28,115	△37,087	118,600	51,743	105,141	—	105,141

(注) 営業利益又は営業損失 (△) の合計額は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	223.10円	229.67円
1株当たり当期純利益	3.15円	9.28円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	32,900	97,079
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	32,900	97,079
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,458,883	10,458,883

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。